

# われもこう

第90号

2014年12月20日発行

高槻ライフケア協会

題字 古井 秀吉 さん

## 親・自分のためにフェリスモンテを立ち上げたけれど

特定非営利活動法人フェリスモンテ

理事長 山王丸 由紀子

フェリスモンテを立ち上げて、15年以上が過ぎた。惚けた父の介護を通じて得た思いや経験から、フェリスモンテを立ち上げた。自宅で最期まで自分らしく暮らしていくようヘルパー派遣事業を始めた。自分が年寄りになったときのことを考えたら、グループハウスをつくりたいと、がむしゃらに考えながら、突き進んできた。50歳だった。もうすぐ68歳になる。

父は、介護保険の始まった平成12年4月10日に自宅で逝った。介護保険のヘルパー派遣を10日間使った。来てくれたヘルパーは、今は亡くなった方もいる。自分が介護される側になった方もいる。

父の食事準備、ベッドからの起き上がり、食卓やトイレへの移動、通院を、私が受けもった。なんでも私にしてもらうことを望んだ、ように思う。母を中心に、私と私の娘2人で、介護した。母は、昼夜かまわず呼びつける父のことを、「もう病院に預かってもらおう

か?」と言ったこともある。

そして、母がこの夏、脳梗塞で入院。11月1日、要介護2から要介護5になって退院してきた。そして、11月17日から近所の老人ホームに入所している。

母と二人暮らしの私は、母に帰って来てほしいし、母も自宅で過ごしたいはずだと思いこんでいる。私の二人の妹たちは、母を施設にいれるほうがよいと思っている様子。

昨日老人ホームへ行って、私が「ばあちゃん家に帰ろうな!」と言ったら、「明日帰る」と返事する。妹からは、母は「この施設がいいからここに居たい」とハッキリ言ったと、メールが届く。

ケアマネが夕方電話をくれた。「施設から『お母様が入所を決められました』と電話があり、さびしいです。高齢者の方は皆さん自宅がええと思っておられ、自宅で暮らせないから施設がええとおっしゃるのだろう。そう思ってお母様に、ほんまの気持ち言うてください

い。と何度も機会をみて言いましたが、本音は聽けませんでした。力不足です」と。

お母様は自宅で過ごしたいと思っている、とケアマネとしての思い込みが、違うかったさびしさと、本音を言ってもらえなかったさびしさ、もう母とは縁が切れるさびしさを、「力不足です」と表現したんやろなあ。

母は、自分の本音は言わないで、その都度都度に自分の方向を決めて生きてきたのかも知れない。母の両親はともに教師で、一人娘として育った。かつて祖母から「あなたのお母さんは、言うとおりに反抗することなく育った」と聞いたことがある。私が高校 3 年のときだった。上の妹は、「母は、祖母の気持ちに添うように、父の気持ちに添うようにしてるので、最後は何でも自分の思うようにする人やわ」と何年か前に言っていた。確かにそうかも！ 母は施設に居て、今この状態状況に不満は無いんやろなあ。

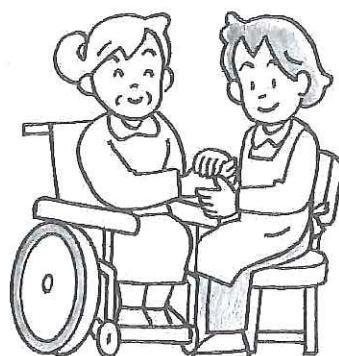
母の施設は、新築で綺麗。スタッフが若い。食堂にいた母を部屋に連れてきて、車イスから軽々とベッドに移乗する。ホテルのボイさんのような身のこなし、言葉かけ。「おたっしやハウス」の目指すものとは、180 度違うと感じたが、新しい施設に就職した若いス

タッフ全員が、楽しそうに仕事している。はりきっている。「施設というよりホテルやね」と若い男性スタッフに声をかけたら、「ホテルのサービスを目指しています」と嬉しそうに誇らしげに返事が返ってきた。

法人の目指す方向をスタッフと共有しなくてはならない、介護技術を上げねばならないと考えていたが、それはつまり、自分の仕事に誇りを持たせることなんやと思った。

ほんで、私の老後は？ フェリスモンテのこれからは？

課題はたくさんある。どの課題も、生きているあいだにしか、取り組めない。私自身が誇りを持って取り組むこと、スタッフが誇りを持って働ける環境をつくること。そんなことを、今考えております。



## 小規模多機能型居宅介護 あすなろ 建設工事が始まりました



りなく進行し、工事の安全を祈りました。

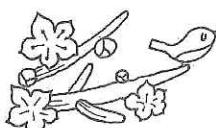
11月12日より建築工事がはじまり、12月5日(金)には、午後5時から棟札を前に棟上式を行いました。雪がちらつくような寒い日でしたが、木の香りが漂う会場で、まず高槻ライフケア協会の理事長より、工事の安全を願う言葉と棟梁や大工の皆さんへの感謝の辞があり、続いて星徳工務店社長の乾杯で祝杯をあげました。

日吉台一番町に開設予定の小規模多機能型居宅介護事業所“あすなろ”的鎮祭が11月4日(火)に行われました。

当日は、紅葉には少し早い秋の晴天に恵まれ、地主の中川様や地域の協力者の方々、工事関係者、高槻ライフケア協会の役職員等が参列し、11時より神服神社の神主による厳かな雰囲気の中で、祝詞奏上、四方祓や地鎮、玉串奉天、神酒拝戴など滞



地主の中川様の挨拶を皮切りに、出席者全員が自己紹介をし、小さな交流会となりました。“あすなろ”に関わる皆さんのご苦労に感謝し、建設工事の安全を祈りつつ、上棟式を終了しました。来年の春のオープンが楽しみです。



## デイだより

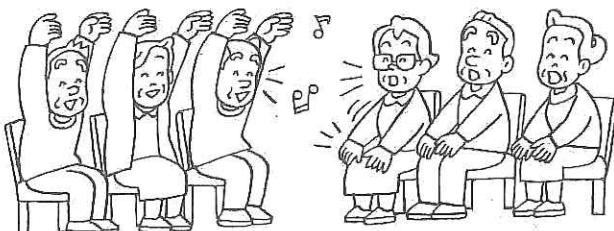


利用者皆さんから希望が多い買物外出。初めは気の進まない様子だった男性利用者が、最近は「いろんなものを見て、賑やかな所に行くと気が晴れる」などと言って、出かける機会を心待ちにされています。

高齢になり、いろいろな症状が出て、体の動きが悪くなってきてても、できる範囲で身体を動かすことは必要です。通所介護では、その日の利用者の状態を見ながら、歌や手遊びなどを交えて、ヨガ体操を楽しい雰囲気で行っています。プログラムには、

- ・「雀の学校」の曲で「ヨガ学校」と大きな声で歌う。

- ・手足を振ったり、自分の手のひらで円を描きながら体のマッサージをする。
  - ・首、肩回し、手足や腕などの屈伸運動。
  - ・ヨガの猫のポーズやねじり、腹式呼吸を取り入れる。
  - ・脳に酸素や血液を送る力を高め、体の動きをよくする効果のツボ押しをする。
- などいろいろあります。自宅でも実行されている利用者があり、体の動きがよくなっているのを職員が実感しています。毎日続けることの大切さを感じます。



## 訪問介護だより

喀痰吸引等研修を修了した介護職員は、痰の吸引や経管栄養などの医療的ケアを行うことができるようになりました。高槻ライフケア協会には、研修を修了し、医療的ケアに関わっているケアワーカーが 11 人います。

一方、医療的ケアが必要な利用者は現在は 8 名です。言葉が不自由になり、表情

や体全体で意思を伝えようと、「あっちよ、あっち」と眼を左右に動かして伝えたり、答えが「はい」なら「そうそう」と瞬きを 2 回したりして答える方もいます。そのような利用者とのコミュニケーションを大切に関わっています。できるだけ多くの利用者を支援できるよう取組んでいきます。

朋(とも)だより

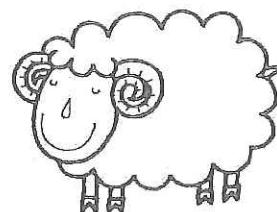
## 1階 生活介護

9月、生活介護では毎日近隣の公園へ散歩に出かけました。色づく木の葉を拾ったり、池のほとりに飛んでくる鳥を眺めたりしながら秋を感じました。

10月には、2階の小規模多機能型居宅介護の皆さんとの合同運動会を開催しました。パン食い競争では『あと少しで届くよ～』と全員で応援し盛り上りました。普段おとなしいMさんもメダル授与の時には満面の笑みをうかべられていました。

11月に入ってから来年度のカレンダー作

りをしています。来年も良い一年になるよう願いを込めて牛乳パックを再生し、きれいな布や紙を張り付けました。Nさんは古い着物調の布で作成されています。Uさんはお得意のちぎり絵で来年の干支の羊の模様にされました。それぞれ個性的なとてもよい作品に仕上がっています。



## 2階 小規模多機能型居宅介護

日に日に寒くなり、利用者さんの着ている服も厚手になってきました。Kさんは「あんた、ええ服着てるなあ」とファッションチェックを始めています。いくつになつても女性はおしゃれが大好きですね。

男性利用者は時間があるとトランプのポーカーゲームを楽しんでいます。「僕はフォーカードや」と、どうだと言わんばかりにトランプを広げ、勝つと自然に顔がほころんでいます。

紅葉もきれいに色付き、お天気のいい日は近くの三輪神社や筒井ヶ池まで散歩に出かけています。Mさんは「ほら、こんなにきれいな赤い葉っぱ拾ったで」と大事そうにポケットに入れしていました。三輪神社では、七五三参りの着飾った姿に、思わず「かわいいねえ」と声をかけていました。





## 秋のバス旅行に参加して

高槻ライフケア協会後援会 大神尚武

毎年恒例となった後援会主催の秋の日帰りバス旅行。ハンディのために遠出が難しい人は、高槻ライフケア協会の経験豊かな介護スタッフが同行するこのバス旅行を中心ちにしていたはずです。

今年は幾つもの台風が日本列島に上陸しましたが、当日は全国的に秋晴れとなり、旅行するのにちょうどよい気温でした。高槻を出発し、一路岡山県日生町へ。日生町の五味の市には、新鮮な海産物が所狭しと並んでおり、威勢のよいおばちゃん達の熱気に包まれていました。買い物を済ませたあと、かんぱの宿赤穂で昼食です。このかんぱの

宿は、立地が素晴らしい、眼下に播磨灘を見下すことができます。昼食には、日生名物焼きあなごを加えたボリューム満点の特別メニューを用意してもらいました。その後、赤穂城の城跡や大石神社を見学し、大石内蔵助に思いを馳せました。帰途の車中は、カラオケ大会の様相を呈し、参加者みんなで盛り上がりました。

最後になりましたが、いつもバス旅行を企画してくださる池上会長その他事務スタッフの方々に謝辞申し上げます。来年も楽しみにしています。



## デイサービスの台所から お正月料理を楽しむひと工夫

デイサービスの台所で調理を担当するスタッフより、入れ歯の方や、のみこむ力の弱い方にもお正月料理を楽しんでいただくためのひと工夫を紹介します。

### お雑煮用のお餅の代用として…

お正月といえばお餅！ 大好きだけど喉つめしないか心配で、控えていらっしゃる方もあるかもしれません。本物のお餅ではありませんが、食材を工夫して、よく似た味と触感を楽しむことができます。

- 白玉粉にすりおろしたじゃが芋と水を少しづつ入れる。よくこねて、耳たぶくらい硬さになったら小さく切りお湯でゆがく。
- 上と同じ要領で、じゃが芋の代わりに絹ごし豆腐を使ってよい。

□ 普通に研いで水加減したお米に、0.5

ミリくらいの薄切りにした長芋を加え、炊飯器で炊く。よく混ぜ合わせ団子にする。  
(お米1合に対して長芋3センチくらい)

### お刺身が余ったら…

刺身用白身魚に片栗粉をまぶし、さっと湯がき、汁物に入れます。ツルッとした舌触りになります。

### お正月用煮物は…

煮物は、家族分が煮えたら少し別鍋にとり、さらに煮込んで柔らかくします。

## サービス提供実績報告

### ◇社会福祉法人

#### 《訪問介護事業》

2014年9月～11月	
利用件数	2,307 件
利用時間	1,900.49 時間
生活援助	1,079.12 時間
身体介護	821.37 時間
介護予防	410.94 時間

#### 《移動支援事業》

2014年9月～11月	
利用件数	775 件
利用時間	2,119.5 時間

### ◇特定非営利活動法人

#### 《福祉移送サービス》

2014年9月～11月	
利用件数	22 件
利用時間	1,335 分
利用距離	439 km

#### 《障害者居宅介護事業》

2014年9月～11月	
利用件数	3,292 件
利用時間	3,656.75 時間
家事援助	1,060.25 時間
身体介護	1,513.00 時間
通院介助	249.50 時間
重度訪問介護	284.50 時間
同行援護	549.50 時間

#### 《ケアワーカー派遣サービス》

2014年9月～11月	
利用件数	400 件
利用時間	418.5 時間
家事援助	234.0 時間
身体介護	46.5 時間
社会的援助	138.0 時間



**物品販売にご協力ください** (値上げしないで頑張っています!)

#### □コーヒー（豆、挽）

ブルマンとジャマイカのブレンド  
1 kg : 1,700 円 500 g : 850 円

#### □産直りんご

長野県の岩下りんご園から、今年の  
サンふじは蜜が豊富でとても美味と  
便りがありました。送料込です。

\*サンふじ 5kg 4000 円

\*りんごジュース

1 箱 6 本入り 4,200 円

#### □島原手延べ素麺 眉山の糸

長崎県島原市の白山製麺製です。

1 kg～5 kg : 1,200 円～5,300 円

\*高柳市、茨木市、島本町、枚方市は  
送料無料（その他の地域は実費）

#### □おとひめこんぶ

南北海道般法華村の黒口浜一帯で育成  
された真昆布一年物です。

1 袋 : 500 円

## 年末年始のお知らせ

**<お休みします>**



- |         |                   |
|---------|-------------------|
| ◇居宅介護支援 | 12月31日(水)～1月4日(日) |
| ◇生活介護   | 12月31日(水)～1月3日(土) |
| ◇通所介護   | 12月31日(水)～1月2日(金) |
| ◇事務所    | 12月30日(火)～1月4日(日) |



※ 訪問介護、小規模多機能型居宅介護、居宅介護、移動支援、ケアワーカー派遣サービスは変わりなく活動しています。

## ご協力に感謝します 2014年4月1日～2014年12月15日（敬称略・順不同）

**<社会福祉法人>**

◇寄附金 累計 127人 3,475,000円  
 奥田稔、田原久雄、牧口明、土井景子、  
 牧野喜代子、田邊俊男、堀田和喜、高槻  
 ライフケア協会後援会、波多野和子、鈴  
 木みどり、中島脩、小林英美子、新保幸  
 子、河合賀代子、松倉弘枝、吉川信子、  
 梅田和子、室田千津子、藤森善重、市谷  
 栄一、丸山美紀、船上利男、三俣一弥、  
 牧野喜代子、小山周一、竹中和枝、石神  
 瓦、中川健、池上澄雄、三原道恵、濱田  
 了子。  
 ◎社会福祉法人高槻ライフケア協会へ  
 の寄附金は、確定申告の際、税額控除  
 制度の適用を受けることができます。

◇寄贈

金田邦美。  
 藤森善重、井上吉弘から、たくさんの野菜  
 を頂き、利用者の食事に重宝しています。

**<NPO法人>**

◇後援会費 累計 327,000円  
 太田わか、岡本偉起子。  
 ◇寄附金 累計 116,000円

**『追悼』**

大庭豊子様が9月27日に、ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

**【編集後記】**

1994年に高槻市に越してきました。近所の信用金庫で通帳をつけて公共料金の引き落としの手続きをしました。最近、その時店頭で手伝ってくださった男性職員が、今も同じ支店で来店者の案内をされているのを見かけました。当時すでに白髪混じりだったその方は、今はお幾つになられるのでしょうか。背筋の伸びたその姿は、20年の歳月を感じさせませんでした。気づかぬうちに時が過ぎていくのを感じました。

社会福祉法人高槻ライフケア協会	特定非営利活動法人高槻ライフケア協会
〒569-0806 高槻市明田町5-7	〒569-0802 高槻市北園町4-19
TEL (072) 683-4945	TEL (072) 682-4119